

<b>科目名：歯科予防処置Ⅳ〈口腔疾患予防〉</b>		必	1 単位
(Practice of Oral Prophylaxis Ⅳ 〈Prevention of Oral disease〉)			
履修年次/時期：2年次 後期                      授業形態：講義・演習			
担当教員：関端麻美（実務経験有）、中向井政子（実務経験有）、小堀陽子（実務経験有）			
学修目的	口腔の疾患を予防し、人々の健康を維持・増進させるために必要な専門知識、技術を修得し、実践する能力と力を養う DP1（1）（2）、2（1）（2）、3（1）に関連する。 CP（2・3・4・5・6）に関連する。                      科目 No.S2C10H1 5		
到達目標	1. 医療面接により適切に情報収集ができる。 2. 口腔内の観察を行い、適切な記録ができる。 3. 歯科衛生士に必要なスクリーニングと検査ができる。 4. 収集した情報から歯科衛生診断ができる。 5. 歯科衛生診断に基づいて歯科衛生士介入計画を立案する。 6. 歯科衛生介入計画に基づいた、歯科衛生介入を実施できる。 7. 歯科衛生評価を行う。 8. 歯科衛生過程に沿って歯科衛生業務記録を作成できる。 9. 口腔管理のための種々の器械の操作法を修得する。 10. 患者に適切に対応できる。		
授業概要	歯科予防処置Ⅰ～Ⅲに続いて、より安全かつ適切な操作技術を確立するとともに、歯科衛生士としての専門知識・技術の向上に努める。相互実習を通して、患者への適切な対応法および歯科衛生過程に沿った業務記録法を身につけ、臨床実習での実践に繋げていく。口腔内の状況の把握および口腔疾患予防のための歯科予防処置法について相互実習で繰り返し体得する。また、超音波スケーラー、エアスケーラーなどの器械を用いた口腔管理の技術を模型実習並びに相互実習により修得する。		
評価方法	筆記試験 70% 実技評価、提出物、演習参加態度、ルーブリック 30%で総合評価を行う。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】 0.1 時間 【復習】 0.1 時間		
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版		
参考書	最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療 医歯薬出版 よくわかる歯科衛生過程 医歯薬出版 事例でわかる歯科衛生過程 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版 医歯薬出版		
問い合わせ 連絡先	関端麻美 月～金 16：40～17：00 sekibatai@kdu.ac.jp 中向井政子 月～金 12：40～13：20 16：40～17：00 <a href="mailto:nakamukai@kdu.ac.jp">nakamukai@kdu.ac.jp</a> 小堀陽子 月～金 16：40～17：00 kobori@kdu.ac.jp 各教員とも事前にメールをいただくと確実に対応ができます。		